

本年の日供神饌講社大祭・饗宴祭は、六月三十日、滋賀県甲賀地区講元講員の皆様により大膳職以下所役をご奉仕いただき、賑々しく斎行できました。ご報告とともに講員の皆様に厚く御礼申し上げる次第です。

日月旗の奉納



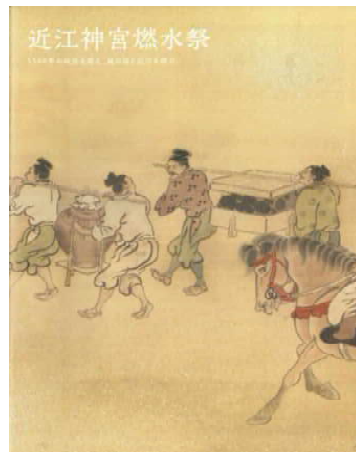
近江神宮では大きな祭典の際、内拝殿と外拝殿との中庭に日月旗一対を掲げています（右は上部の円が金色で日を表わす日像旗、左は銀色で月を表わす月像旗）。外拝殿にまで参列いただく参列者の多い祭典に掲げるだけでなく、それでも風にあおられて台座に当るなどで傷みが早く、このほど、四月の例祭にあわせて新しい旗を奉納いただきました。日供神饌講設立時より講元として参画され、長らくお世話いただいたいた福田シロ様の百歳記念の奉納になるものです。

福田様は東京在住ですが、日供神饌講設立以前から近江神宮崇敬者として祭典参列、各種ご奉仕など、九十年代半ばのころまで年に何回も来ていただいていた

ました。近年は高齢となられ、参列等は適いませませんが、現在も家業などで元気に過ごされ、今回奉納いただくことになりました。

『近江神宮燃水祭』冊子

燃水祭については以前ご紹介しましたが、毎年七月七日（七日が土日の場合は五日）に斎行されている石油の祭典です。日本書紀の天智天皇八年七月の条に「越の国 燃ゆる土 燃ゆる水をたてまつる」と記すのが日本史上の石油の初出です（燃える土は天然アスファルトのことという）。これ



にちなんで、新潟県胎内市黒川で七月一日に採油された原油を胎内市の代表者が七日の近江神宮燃水祭に参列して奉獻します。

先だって全国石油商業組合近畿支部から『近江神宮燃水祭』と題する小冊子が発行されました。燃える土関係のアスファルト防水事業の広報関係者に尽力いただきました。近江神宮の燃水祭、また七月一日の新潟県黒川の燃水祭のことが、多くの写真とともに掲載、解説されています。入手ご希望の方には無料で差し上げます。

手作り市「marche“S”」

昨年八月から毎月第三土日曜日に、表参道の一の鳥居付近と二の鳥居までの参道で、手作り市「marche（マルシエ）“S”」が開催されています。販促物・デザイン・ホームページ制作などを行っている、ソバイル株式会社（〇七七―五八四―五五〇八）の主催で、アクセサリー・服飾小物・食器類・ガラス製品・木工品などのさまざま



一の鳥居前の出店状況

まな雑貨や飲食など、現在までのところ、二日間それぞれ三十店前後の出店があります。雨天の場合はその日は中止になります。年内は毎月開催を予定しています。

神社境内は昔から市が開かれるなど、人の集まりの拠点となる場所でもあり神前での賑わいを楽しむものでした。二の鳥居までまだまだ十分余裕がありますので、出店数がさらに増加し、今後多くの人にきていただいで広がっていき、

marche "S"
手作り市
in 近江神宮
SUMIJINGU

毎月第3土曜日・日曜日の2日間
最大140店舗出店

開催日時: 2015年07月11日(土)・12日(日)
開催時間: 午前9時～午後6時

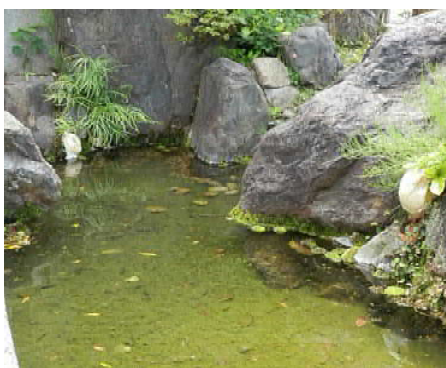
09:00～10:00	2,20 (sat)	2,21 (sun)
10:00～11:00	3,19 (sat)	3,20 (sun)
11:00～12:00	4,18 (sat)	4,17 (sun)
12:00～13:00	5,21 (sat)	5,22 (sun)
13:00～14:00	6,18 (sat)	6,19 (sun)
14:00～15:00	7,16 (sat)	7,17 (sun)
15:00～16:00	8,20 (sat)	8,21 (sun)
16:00～17:00	9,17 (sat)	9,18 (sun)
17:00～18:00	10,15 (sat)	10,16 (sun)
18:00～19:00	11,19 (sat)	11,20 (sun)
19:00～20:00	12,17 (sat)	12,18 (sun)

開催場所: 近江神宮
開催主催: 伊勢市企画振興局
お問い合わせ: 伊勢市企画振興局 企画課 企画係
TEL: 0593-32-1111 (内線222)

手作り市「marche"S"」ポスター

あわせて参拝者の増加にもつながっていくことを期待したいと思います。ソバイルのホームページ (<http://www.marches.sobile.co.jp>) をご覧ください。

モリアオガエルの産卵



近江神宮の漏刻のところの池にはモリアオガエルが棲息しており、時折大きな鳴き声が聞こえます。今年も五月中旬ころ、池のあたりの何か所かに卵を産みつけました。多くの蛙は水中に卵を産みますが、モリアオガエルは水の外の木や岩の間などに白い泡とともに産みつけるといふことです。写真の白い泡(中程の右端と左上方の草のところ)の中に多くの卵が入っており、泡が卵を保護する役目をしているとのこと。

本年後半の祭典行事

- 七月七日午前十一時 燃水祭
- 七月二十三・二十四日 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
- 八月二十四日午前十一時 弘文天皇祭
- 八月二十八日午後一時 献書祭(全国献書大会表彰式)
- 十一月七日午前十一時 御鎮座記念祭
- 十二月一日午前十時 初穂講大祭

講社通信は近江神宮ホームページでカラーで見られます。

<http://www.oumi-jingu.org/> 「日供神饌講」ページ